

2018 年度 東三河振興ビジョンの進捗状況

～豊かさが実感できる 輝く「ほの国 東三河」の実現に向けて～

主な取組の一覧

- 本資料は、東三河振興ビジョンに沿った 2018 年度の主な取組についてまとめたもの。
- 以下の取組を優先して記載した。
 - ① 2018 年度に新たに実施されたもの
 - ② 類似の取組がないもの
 - ③ 規模の大きいもの
- 各取組ごとに、関連する主要プロジェクト推進プランを以下の記号で表示した

地方創生 …… 地方創生事業の広域展開

新東名 …… 新東名インパクトを活かした地域振興～広域観光の新展開～

人が輝き …… 「人が輝き活躍する東三河」の実現

スポーツ …… 世界・全国レベルのスポーツ大会等を生かした地域連携

1 東三河の魅力の創造・発信 ～地域内外に誇りうる魅力ある地域づくり～

【施策の方向性】

変化し続ける観光客のニーズや他地域との差別化を念頭に置きながら、伝統文化等の各地域の特性を活かした個性的な地域づくりや、地域資源の磨き上げを行っていきます。また、東三河の魅力が的確に伝わるよう、地域ブランドの構築を図っていきます。

さらに、広域交通網の整備効果を活かしながら、国内外からの誘客を強化するため、遠州地域や南信州地域、伊勢志摩地域等と連携しながらプロモーションを展開していきます。

愛知デスティネーションキャンペーンの実施【JRグループ、県、市町村、観光事業者】

- 2018年10月1日から12月31日の3ヶ月間、「愛知デスティネーションキャンペーン」を開催。キャンペーンイチオシ企画や、周遊バス、観光列車等を実施。期間中の東三河地域における観光・レクリエーション資源利用者数は、前年比21.9%の増加。



(愛知DCロゴマーク)

〈イチオシキャンペーン企画〉

- ・吉田城鉄櫓手筒花火特別放揚
- ・鳳来寺山 特別拝観プレミアムガイドツアー など

〈周遊バス〉

- ・東海道二川宿散策と紅葉&桜の競演「普門寺もみじ祭り」
- ・「蒲郡みかん」食べ放題とパワースポット・豊川稲荷&砥鹿神社参拝 など

〈観光列車〉

- ・武将隊列車 未来クリエイター☆信長（尾張一宮～長篠城）
- ・地元タイアップ観光列車 おいでん奥三河（豊橋～新城～東栄）
- ・DCコラボ列車 愛知☆静岡DCトレイン（名古屋～愛知御津～静岡）など

地方創生

新東名

ダイヤモンド・プリンセス初寄港【蒲郡市】

- 2019年3月27日（水）、蒲郡ふ頭11号岸壁に、世界を巡る豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」が初寄港。船内見学会やステージイベント、お土産・物販ブースなどのおもてなしを実施。



(ダイヤモンド・プリンセス号の寄港の様子)

地方創生

「三遠南信食の祭典 in 茶臼山」の開催【豊根村】

- 三遠南信や各地域のブランド、ネームバリューの向上を目的に、三遠南信の地理的な真ん中である茶臼山高原で、食をテーマとしたイベント「三遠南信食の祭典 in 茶臼山」を開催。

- ・開催日：2018年10月21日（日）
- ・来場者：13,000人



(三遠南信食の祭典)

地方創生

ワールドサーフィンゲームスの開催【田原市、県】

- 各国の代表選手が戦うことから「サーフィンのワールドカップ」といわれる世界的なビッグイベント、「2018 アーバンリサーチ ISA ワールドサーフィンゲームス」を田原市で開催。

- ・開催時期：2018年9月15日（土）～22日（土）
- ・参加者：世界42の国と地域から197選手が参加
- ・来場者：50,000人

地方創生 スポーツ



(ワールドサーフィンゲームス)

奥三河パワートレイルの開催【新城市、設楽町、東栄町、豊根村、県】

- 茶臼山高原（豊根村）から湯谷温泉（新城市）までを走るトレイルランニング大会「奥三河パワートレイル」を開催。

〈第4回大会〉

- ・開催時期：2018年4月21日（土）～22日（日）
- 出走者数：611人（うち完走者数264人）

- エイドステーションにおいて、ランナーに地域特産品を提供するとともに、上位入賞者へ東栄町のチェーンアートで作成した花祭りの鬼のトロフィーを贈呈。
- フィニッシュ会場で開催された「トレランEXPO」では、長篠陣太鼓の演奏を実施するとともに、奥三河の特産品を販売。

地方創生 スポーツ



(奥三河パワートレイル)



(エイドステーションの様子)

ダモンデトレイルの開催支援【新城市】

- 1周約2.7kmの特設トレイルコースを周回する3時間耐久のトレイルランニング大会「ダモンデトレイル」を開催。（地域おこし協力隊による立上げ）

ソロやチーム、ファミリーでも参加でき、経験者でも初挑戦でも楽しめるトレイルレース。

- ・開催時期：2018年5月13日（日）
2018年10月14日（日）

地方創生 スポーツ



(ダモンデトレイル)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプの協定締結【豊橋市】

- リトアニア共和国パラリンピック委員会と東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプに関する協定を締結。

地方創生 スポーツ



(リトアニア共和国パラリンピック委員会と東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプに関する協定締結の様子)

「あいちスポーツコミッション」による支援【県】

- 全国、世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげる取組を地域の関係者で連携・推進するため、「あいちスポーツコミッション」を2015年4月1日に設立。自治体の他にも、スポーツ関係団体、経済・観光団体、マスメディア、企業・NPOなどが参画し、地域の関係者が一体となって、スポーツ大会招致、合宿誘致、大会育成活動、地域活性化促進活動等の取組を推進。

地方創生 スポーツ

インスタグラマー等による東三河の魅力情報発信・拡散【県】

- 東京圏在住者に対し東三河の魅力を強く印象付け、東三河の知名度向上と観光客の増加を図ることを目的に、東京圏在住の若者に訴求力の高いインフルエンサー等を活用し、SNS等上で、東三河の観光資源を素材に情報発信・拡散させる取組を実施。

〈IMALU (タレント) ※IMALUのInstagramに掲載〉

テーマ：オシャレ女子旅！

主な訪問先：のんほいパーク、豊川稲荷の霊狐塚と表参道、のき山学校（東栄町体験交流館）&naori(なおり)

〈凜&奈々(人気の柴犬)※凜&奈々のInstagram、ツイッターに掲載〉

テーマ：愛犬とドライブ旅！

主な訪問先：竹島、四谷の千枚田、伊良湖岬、津具地区のカカシ

〈山口夫妻(ドローンによる動画撮影)※YouTube〉

テーマ：家族と絶景探し！

主な訪問先：吉田城址、竹島、鳳来寺山、新豊根ダム



(凜&奈々 伊良湖岬灯台にて)

地方創生

東三河ブランド創出に向けた魅力の「見える化」【県】

- 住みやすさや経済的な豊かさなど、「東三河の快適な暮らし」伝えることができるデータを整理・分析し、東三河の魅力を「見える化」。そのデータを活用したリーフレット等の広報資材により情報を発信。

地方創生 人が輝き



(リーフレット)

ニューキャッスルアライアンス会議の開催【新城市】

- 「新しい城」という同じ名前の都市が同盟を結んで2年ごとに集まり、話し合いや交流を行う「ニューキャッスルアライアンス会議」を新城市で開催。20周年を迎えた2018年度は、文化、観光、教育、経済の分野における共同声明を採択。

- ・開催時期：2018年10月3日(水)～9日(火)
- ・参加者：世界13ヵ国15都市の方が参加



(ニューキャッスルアライアンス会議2018の様子)

東三河レストランバスの運行【東三河レストランバス実行委員会】

- 東海地方で初めてとなる地元の食材を使った料理と絶景が楽しめるレストランバスを渥美半島で運行。間近に生産地が感じられる6つのコースを用意し、全39回ツアーを運行。

- ・開催期間：2019年2月1日（金）～3月31日（日）
- ・参加人数：延べ874人

地方創生



(レストランバスの様子)

アンテナショップの実施【豊橋市、新城市】

- 2018年度の第2土曜日を基本に毎月1回、全国の農産物などが販売される東京都千代田区の交通会館マルシェで、豊橋産の農産物と加工品を販売。（豊橋市）



(豊橋市交通会館マルシェの様子)

- 2018年7月1日、藤が丘中央商店街振興組合に、新城市アンテナショップ「山^{さん} PORT 新城」をオープン。地元特産品を販売。物産市「しんしろマルシェ」も地下鉄藤が丘駅隣の広場で定期的開催。（新城市）

地方創生

新東名



(新城市アンテナショップの様子)

ロケ誘致支援による連携強化【愛知県東三河広域観光協議会、豊橋市、豊橋商工会議所】

- 東三河の自然風景や情緒等を活かし、ロケ支援を通じた地域振興、観光振興を図ることを目的として設立された「ほの国東三河ロケ応援団」による撮影協力の取組を実施。

- 2019年2月28日、古関裕而さんと金子さんをモデルにした連続テレビ小説「エール」の2020年度前期の放送が決定。古関裕而さんの出身地である福島市と協力して誘致活動を実施。

地方創生



(エール放送決定の報告会の様子)

山里の魅力創造発信事業の実施【県】

- 三河山間地域の魅力等を様々なメディア等を活用して情報発信。交流人口の増加を図り、経済活動の拡大や移住・定住を促進。

- ・TVによる情報発信
30分枠の特別番組のほか、朝の情報番組内で紹介(5回)

- ・WEBによる情報発信

HP運営、フォトコンテストの開催、無料ガイドブックの発行、シンガポールの外国人向け観光マガジン誌への掲載、国内線機内誌への掲載。

- ・花祭周遊バス及びシャトルバスの運行：乗車人数 延べ36人

地方創生



(山里の魅力創造社HP)

日本の祭り in あいち・なごやの開催【県】

- 全国各地や海外の伝統芸能が一堂に会する地域伝統芸能全国大会を開催。東三河からは、最高位の高田宮殿下記念地域伝統芸能賞に輝いた北設楽花祭保存会の「花祭」を始め、豊川市の牛久保八幡社に伝わる「若葉祭笹踊り」、「豊橋鬼祭」、「田峯念仏踊」がパフォーマンスを披露。

- ・開催日：2018年11月3日（土・祝日）～4日（日）
- ・会場：日本特殊陶業市民会館、ドルフィンズアリーナ（愛知県体育館）

地方創生



(全国大会の様子)

「東栄フェスティバル」の開催【東栄町】

- 30回目の記念開催となる2018年度は、花祭の主演となる「神鬼」が町内11地区から勢揃いする特別な催しを企画するとともに、静岡県掛川市横須賀の「三社祭礼囃子」、新城市名越の「名越神楽」、長野県阿南町新野の「新野雪祭り」の三遠南信地域に伝わる民族芸能が集結し、それぞれの祭りの見どころを披露。

- ・開催日：2018年11月3日（土・祝日）
- ・来場者：約14,000人

地方創生



(東栄フェスティバル)

地域おこし協力隊の活動【新城市、設楽町、東栄町、豊根村】

- 新城市、設楽町、東栄町、豊根村では地域おこし協力隊が活動しており、スポーツツーリズム関連活動、地場産業の魅力化研究員、ビューティーツーリズム naori（なおり）事業、チョウザメ養殖技術の取得と産業化への取組などを推進。

〈地域おこし協力隊の人数（2018年度）〉

新城市3人、設楽町4人、東栄町3人、豊根村3人

地方創生

新東名

スポーツ

移住ソムリエの認定【東栄町】

- 町への移住希望者などに、気軽に移住や東栄町での暮らしについて話ができる人を募集。2019年2月19日に認定式が開かれ、29の個人と団体を「移住ソムリエ」として認定。

地方創生



(認定式の様子)

2 豊かな自然の保全・再生 ～人と豊かな自然が共生する地域づくり～

【施策の方向性】

里地・里山・里海における生物多様性保全の取組により、森・川・海の命が連なる流域圏づくりを推進していくとともに、豊かな自然環境を農林水産業の生産の場としてはもとより、教育や健康増進、観光振興等の地域資源としての活用を進めていきます。

また、三河湾の環境再生に向けては、流域全体での関心を高めながら、陸域からの汚濁負荷量の削減や、多様な生態系の働きによる水質浄化機能の回復等に取り組んでいきます。

東三河ジオパーク構想の推進【市町村、県】

- 2016年5月に東三河8市町村が参加する「東三河ジオパーク構想推進準備会」を発足。
- 2018年3月に、東三河ジオパーク構想のとりまとめに向けたテーマ「中央構造線でつながる大地！『ほの国 東三河！』」を決定。
- 東三河の大地の魅力を発信する人材を育成するためジオガイドの養成を実施。
 - ・ジオガイド認定講座【後期】（2018年度：7講座）受講者 36名
 - ・ジオガイド認定試験 25名合格
- 東三河のジオ(大地)の魅力や、大地と動植物・人との関わりを体感するジオツアーを2回開催。
 - 〈第1回〉農業王国を支える用水を探るツアー
2019年2月3日（日）、豊橋市内、参加者 25名
 - 〈第2回〉ミニジオツアー ～田原地域の魅力を探る～
2019年2月24日（日）、田原市内、参加者 71名
- 東三河ジオパーク構想の普及啓発を目的としたシンポジウム「中央構造線でつながる大地と文化」を開催。
 - ・開催日：2019年2月24日（日）
 - ・会場：田原市華山会館
 - ・参加者：97名



(農業王国を支える用水を探るツアーの様子)

地方創生

三河湾大感謝祭～三河湾環境再生プロジェクト～の開催【県、蒲郡市】

- 多くの人々に三河湾に関心を持ってもらうことを目的に、三河湾大感謝祭を開催。元シンクロナイズドスイミング日本代表の青木愛さんによる環境トークショー、地元団体によるシンポジウムなどを実施。
 - ・開催日：2018年10月28日（日）
 - ・会場：蒲郡市民会館
 - ・来場者：約6,000人



(三河湾大感謝祭)

「いらご さららパーク自然観察サポーター」の設置【県】

- 2013年～2017年度にかけて整備した伊良湖休暇村公園内「いらご さららパーク」において、当地の自然環境の魅力発信等行う「自然観察サポーター」を設置。



(自然観察会の様子)

アカウミガメ保護のための表浜海岸の共同パトロール【県、豊橋市、田原市】

- アカウミガメの産卵期を前に、行政と地域の保護団体等が協力して、豊橋市小島海岸と田原市赤羽根西海岸の2箇所で車両の乗り入れ規制周知のためのパトロールと海岸清掃を実施。

・開催日：2018年5月20日(日)

地域環境リーダー活躍促進【県】

- 東三河の各地域で活動する人15名を「地域環境リーダー」に任命。3回のワークショップ(8月～9月)を通じ、新城設楽地域・東三河地域(豊橋、豊川、蒲郡)・渥美半島地域の3地域で環境課題を検討し、対策を実践。最後に、東三河生態系ネットワーク協議会、新城設楽生態系ネットワーク協議会、渥美半島生態系ネットワーク協議会のそれぞれのフォーラムで成果を発表。



(新城設楽地域のワークショップの様子)

「奥三河高原 ジビエの森」の運営支援【設楽町】

- 奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会に対して、「奥三河高原 ジビエの森(2015年4月稼働)」の運営を支援。

イノシシ・ニホンジカを食肉加工し、道の駅「もつくる新城」等奥三河地域の飲食店等へ食材を供給。



(奥三河高原 ジビエの森)

3 地域産業の革新展開 ～力強い産業が展開する地域づくり～

【施策の方向性】

環境問題や高齢社会への対応といった社会的課題に焦点を当てながら、本地域の強みであるモノづくりの素地を活かし、次世代自動車や健康長寿、新エネルギーといった次世代産業の創出・集積や、それらの産業をリードする人材の育成を進めていきます。

また、農林水産業については、農商工連携や産学官による技術開発等の促進、さらには海外マーケットへの進出により、地域を牽引する成長型産業への躍進を図っていきます。

「ものづくり博 2018in 東三河」の開催【東三河広域経済連合会】

- 東三河のものづくりの強さや魅力の発信、次世代の若者へのものづくりの楽しさ伝え、ものづくり人材育成を図ることを目的に、「ものづくり博 2018in 東三河」を開催。
 - ・開催日：2018年6月15日（金）～16日（土）
 - ・場 所：豊橋市総合体育館
 - ・内 容：93 企業団体のブース出展、対話型アンドロイド展示と実演 など
 - ・来場者：延べ21,000人



(ものづくり博 2018in 東三河)

三河港「国際自動車トレード特区」の認定【県、豊橋市、蒲郡市】

- 自動車の回送運行作業の効率化を目的に、回送時の仮ナンバー表示を省略する「国際自動車トレード特区」が、2019年3月に国の構造改革特別区域計画に認定。



(陸揚げされた輸入自動車【明海地区】)

海外マーケットに対する販路開拓

【あいちの花き輸出促進実行委員会※】

- 愛知県産花きの輸出の取組を一層促進するため、一般社団法人日本植物輸出協議会、独立行政法人日本貿易振興機構名古屋貿易センターと連携して、海外バイヤーを招聘し、海外ニーズが見込まれる県内の花き産地ツアーを開催。
 - ・開催日：2019年1月10日（木）
 - ・内 容：スイートピー、グロリオサ生産ほ場視察（田原市内）
ガーベラ、スプレーバラ生産ほ場視察（豊川市内）
 - ・海外バイヤー参加国：中国、シンガポール、フランス、ドイツ、オーストラリア



(花き産地ツアーの様子)

※あいちの花き輸出促進実行委員会

愛知県、愛知県経済農業協同組合連合会、愛知県花き温室園芸組合連合会により2017年度に設立。

【三遠南信】

- 海外販路拡大のため、豊橋市、田原市、浜松市、飯田市と連携し、マレーシアにおいて農産物等の販売プロモーションを実施。

〈第1回〉

- ・期間：2018年11月16日(金)～25日(日)
- ・場所：クアラルンプール市内商業施設

〈第2回〉

- ・期間：2019年1月18日(金)～27日(日)
- ・場所：クアラルンプール市内商業施設



(販売プロモーションの様子)

【豊橋市】

- 農産物の海外販路を開拓および拡大するため、農家など市内関係者と連携した輸出体制の構築を推進。

〈プロモーション〉

- ・マレーシア：11月(次郎柿)、1月(貯蔵次郎柿)
- ・タイ：11月(次郎柿)、2月(イチゴ)
- ・シンガポール：11月(次郎柿)、2月(キャベツほか)

〈現地バイヤーの招聘〉マレーシア、10月

〈シェフ向けセミナー〉香港、11月



(シンガポール販売プロモーションの様子)

【蒲郡市】

- 「香港フード・エキスポ 2018」にブース出展し、市の食品関連事業者の海外販路開拓を支援。

- ・期間：2018年8月16日(木)～18日(土)の3日間
- ・場所：香港コンベンション&エキシビジョンセンター
- ・参加者：食品関係事業者6社(11品)



(香港フード・エキスポ 2018)

あいち農業女子交流会【県】

- 県内各地で活躍する農業女子の紹介、女性農業者を応援する企業の製品等の展示及び就農に関する相談を行う「あいち農業女子交流会 2018」を開催。農業女子トークセッションでは、豊橋市から1名、新城市から1名の女性農業者が参加。

- ・開催日：2018年7月14日(土)
- ・場所：オアシス 21「銀河の広場」



(農業女子トークセッションの様子)

地方創生

人が輝き

企業誘致推進【豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市】

- 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市の5市が連携し、企業用地と地域の魅力を紹介するとともに企業立地の推進を目的とした「東三河5市企業用地見学ツアー」を開催。

- ・開催日：2018年11月6日（火）

- また、企業誘致に向けて、新城インター企業団地（新城市土地開発公社）や、豊橋三弥地区工業用地の整備（愛知県企業庁）を推進。



（企業用地見学ツアー【プレゼンテーション】の様子）



（企業用地見学ツアーの様子）

再生医療産業化の推進【蒲郡市】

- 蒲郡市ヘルスケア計画に基づき再生医療のまちづくりを推進するため、再生医療に関する事業を企画運営する「蒲郡再生医療産業化推進委員会」を設立。

- 再生医療の実用化及び産業化の実現化に向けた取組を推進。

- ・小学生体験講座：20名参加
- ・再生医療学会見学バスツアー：21名参加
- ・市民講座：90名参加



（小学生体験講座の様子）

4 安心・安全な地域づくり ～安心して安全に生活できる地域づくり～

【施策の方向性】

東海、東南海及び南海地震の三連動地震や南海トラフを震源とする巨大地震、台風・集中豪雨等の自然災害に対し、ハードとソフトの両面において、生命・財産を守る防災・減災対策を強化していきます。

また、医療や介護の課題に対し、地域間における連携や地域全体での支え合い等を促進しながら、充実・強化を図るとともに、交通安全・防犯対策を進め、地域の安心・安全を確保する取組を強化していきます。そして、奥三河においては、集落機能の維持・再生や生活環境までを見据えた、きめ細かな対応を行っていきます。

三河港フェーズ別高潮・暴風対応計画の策定【県】

- 重要港湾の三河港において、各種の防災情報を活用して適切な段階（フェーズ）を想定し、それに応じた具体的な防災行動の内容や実施するタイミングを整理した「フェーズ別高潮・暴風対応計画」を策定。

三河港（神野地区）耐震岸壁整備【三河港振興会・県】

- 南海トラフ巨大地震など、大規模地震時における背後圏の緊急物資輸送及び物流機能の維持を目的とした「三河港（神野地区）耐震強化岸壁」の整備について、事業主体である国に働きかけを実施。岸壁の延伸と、それに伴う県が実施しているふ頭再編により、平時の効率的な物流機能が確保され、三河港を利用する地域の産業の国際競争力向上を期待。



(耐震岸壁整備の状況)

三河の山里サポートデスクの運営【県】

- 移住や起業、集落支援などを総合的にサポートする現地拠点「三河の山里サポートデスク」を運営し、その取組のひとつとして、「三河の山里集落応援隊」による集落活動支援を実施。
- 集落活動の応援を個人に呼びかけ草刈り作業やイベントのお手伝いなど三河山間地域の集落等の望む活動とマッチングし、交流しながら集落機能の維持・活性化を促進。
 - ・ 2018年度登録者 57人（2019.3.31現在）

地方創生

過疎バス路線維持に対する支援【県】

- 山間地域の住民の足として利用されている「乗合バス事業者の運行路線」及び三河山間地域市町村が住民の交通の利便を確保するため運行する「市町村営バス路線」の維持に対する支援を実施。



(おでかけ北設マスコットキャラクター)

5 誰もが活躍できる地域づくり ～誰もが希望を持って活躍できる地域づくり～

【施策の方向性】

若者、女性、高齢者、外国人など誰もが能力を十分に発揮し、社会の様々な場面で活躍できるよう、きめ細かな教育環境づくりや職業観・職業能力の育成、多様で柔軟な働き方を可能とする就業環境の整備などの取組を進めていきます。

また、拡大する公共ニーズを地域全体で支える「新しい公」の担い手として、企業やNPOなど様々な主体との連携・協働を促進し、相乗効果を生み出していきます。

社会人キャリアアップ連携協議会による連携強化

【東三河の4大学、豊橋市、豊川市、田原市、㈱サイエンス・クリエイト、東三河広域経済連合会、県】

- 2014年10月に、東三河地域の産学官が連携し、地域経済の持続的発展のため、その担い手となる人材育成の活性化を目指す「社会人キャリアアップ連携協議会」を設立。
- 2018年度は、「人工知能時代に求められる学び直し ひとつづくり」をテーマとしたシンポジウム等を開催。
 - ・開催日：2019年2月27日（水）
 - ・会場：穂の国とよはし芸術劇場PLAT
 - ・参加者数：156名



(社会人キャリアアップ連携協議会シンポジウム)

地方創生

東三河産業アカデミーの開催【東三河広域経済連合会】

- 高度な企業人材を育成するため、東三河の商工会議所・商工会が連携し、全会員を対象として経営幹部及び管理監督者向けなどの人材育成セミナーを開催。
- 2018年度は、「VR（ヴァーチャル・リアリティ）入門セミナー」等、20講座を開催。合計454社、626名が参加

地方創生

東三河若者人材確保支援事業【県】

- 大都市圏からの若者の流入を促進するとともに、地元企業の採用力向上と若者の円滑な就職活動を双方から支援することで、東三河地域の産業人材の確保と若者の定住を促進するため、人材流入促進事業等を実施。

- ・人材流入促進事業
 - 東三河しごと体感ツアー 2回
 - 東三河ワーク×ライフ発見フェア 1回
- ・採用活動支援事業
 - 新卒採用支援セミナー 1回
- ・就職活動支援事業
 - 東三河ワーク×ライフスタイル研究会 7回
 - 保護者のための東三河就活準備セミナー 2回



(東三河しごと体感ツアーの様子)

地方創生

「まじカフェ」の開催【東三河広域連合】

- 学生が就職や仕事について考える機会をつくとともに、学生に地元企業の魅力を知っていただくため、学生が地元企業と気軽に交流できる「まじカフェ」を開催。

〈豊橋技術科学大学附属図書館〉

開催期間：2018年10月25日～31日

参加企業77社、参加学生142名

〈愛知大学豊橋キャンパス〉

開催期間：2019年1月17日

参加企業43社、参加学生71名

〈豊橋創造大学カフェテリア〉

開催期間：2019年2月13日、20日、27日

参加企業45社、参加学生238名

〈愛知工科大学4号館学生ラウンジ〉

開催期間：2019年2月22日、26日

参加企業24社、参加学生43名

〈タリーズコーヒー豊橋駅前店〉

開催期間：2019年2月5日、12日、21日、25日

参加企業38社、参加学生46名



(まじカフェの様子【豊橋創造大学】)



(まじカフェの様子【タリーズコーヒー】)

地方創生

「モグジョブ」の開催【豊橋商工会議所】

- お昼休みに学食でランチを食べながら、学生と企業が少人数で交流するサービスを2018年10月に開始。

実施場所：愛知大学豊橋キャンパス、豊橋技術科学大学、豊橋創造大学

実施回数：16回

参加企業延べ60社、参加学生延べ181名



(モグジョブの様子)

地方創生

東三河学生就職NAVIなどによる地元企業への就職支援【豊橋商工会議所】

- 東三河で就職したい学生と地元優良企業を結ぶ、就活応援サイト「東三河学生就職NAVI」や合同企業説明会など、同一地域内で類似サービスを展開していた地元新聞社とタイアップし、内容を充実。

地方創生

「ミライカフェほの国2019」の開催【県】

- 東三河地域を「住みたい町」、「住んでみたい町」に変えていくため、高校生によるグループワーク、ビジネスプラン等の取組発表を実施。

・開催日：2019年2月2日（土）

・参加者：5校、24名の生徒が参加



(ビジネスプラン等の発表の様子)

地方創生

東三河地区中高連携キャリアフレッシュセミナーの開催【県】

- 東三河 8 市町村の中学 1 年生と保護者に、東三河の高校の学科紹介（普通科・専門学科の高校 12 校 10 学科）と高校生との語り合いを通して、将来の夢や進路を考える機会を創出するキャリアフレッシュセミナーを開催。
 - ・開催日：2018 年 8 月 25 日（土）
 - ・会 場：愛知大学豊橋キャンパス
 - ・参加者数：約 500 名（中学 1 年生と保護者、高校生）

地方創生 人が輝き

愛知県立田口高校『お仕事フェア』開催【設楽町・東栄町・豊根村】

- 2018 年 7 月 2 日に、卒業後の就職を見据え、地元に着して働くことを選択肢として考えてもらえるよう、高校体育館で「お仕事フェア」を開催。地元企業など 16 社が出展。高校生（120 人）だけでなく、北設楽郡内の中学 2 年生（51 人）が参加。



（『お仕事フェア』の様子）

地方創生 人が輝き

ビジネスパーク事業によるキャリア教育の実施【豊橋商工会議所、豊橋市】

- 豊橋商工会議所の会員事業所などに所属する地域の社会人が、職業の内容や地域で働く役割・意義などを中高生に伝えるもので、豊橋市のキャリア教育にも位置づけられており、生徒が将来や職業を考えるきっかけを創出。

〈2018 年度春〉

- ・参加校数 17 校、参加生徒数 2,922 名、講師数 227 名、174 講座

〈2018 年度秋〉

- ・参加校数 4 校、参加生徒数 502 名、講師数 53 名、36 講座



（ビジネスパークの様子）

地方創生 人が輝き

「豊橋イノベーションガーデン」を核とした人材育成【豊橋市、サイエンスクリエイト】

- 下記の三つの機能を備え、豊橋サイエンスコア 1 階に広がる「豊橋イノベーションガーデン」を核として、ワークショップ、講習会、食品の試作開発及びハッカソンの開催など、多様な人材の交流・連携を促進し、ハード・ソフトの両面から起業家や技術者を育成。

＜メイカーズ・ラボとよはし＞

最新のデジタル工作機械を備えた新たなものづくりの場
＜Startup Garage＞

起業や経営相談、コワーキングスペース、異業種の人材交流の場

＜アグリフード・ラボ＞

地域の農産物を活用した食品メニューの試作開発の場



(Startup Garageの様子)

※ハッカソン：ハック(hack)とマラソン(marathon)を組み合わせた言葉。提示されたテーマに対して、決められた時間の中で、自分たちのスキルを活用して何らかの成果物を製作する、参加型のイベント。

地方創生

人が輝き

県立高校専門学科の充実【県】

- 生徒の多様なニーズに応えるため、2018年4月、豊橋南高校普通科教育コース、福江高校観光ビジネスコースが県内で初めて開設。
 - ・豊橋南高校普通科教育コース：定員 40 名
 - ・福江高校観光ビジネスコース：定員 40 名

人が輝き

あいちワーク・ライフ・バランスの推進運動【あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会】

- 仕事と生活の調和した社会の実現に向けて、「愛知県内一斉ノー残業デー」として定時退社を促す街頭啓発活動を県内 5 箇所を実施。
 - ・開催日：2018年11月21日(水)
 - ・会場：豊橋駅ペDESTリアンデッキ 他

人が輝き

多文化子育てサロンの実施【県】

- 子どもの成長に従って保護者に求められる日本語能力の育成、子どもの言語習得や将来的な学力形成の促進、地域の日本人親子との交流と相互理解を目的に、豊橋市内で「多文化子育てサロン」を全 7 回実施。



(サロンの様子)

6 地域を支える社会基盤の整備 ～地域の産業や暮らしを支える社会基盤の整備～

【施策の方向性】

「東三河1時間交通圏」を確立する道路整備や、バス、鉄道、フェリーといった地域公共交通の維持・確保により、地域内外とのネットワークを充実していきます。

また、世界と直結する三河港の機能強化を進め、グローバルに事業展開する産業を支えるとともに、三河港周辺の国際的な生産・物流拠点の形成や新たな産業集積につなげていきます。

あわせて、活発な産業活動が持続可能となるよう、水資源やエネルギーの安定的・恒久的な確保を図っていきます。

広域的な幹線道路網の整備促進【市町村、東三河広域経済連合会、県】

- 三遠南信自動車道、名豊道路の未開通区間の早期整備や浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の早期実現等を地域が一体となって国に働きかけるなど、広域的な幹線道路網の整備を促進。
- 三遠南信自動車道の佐久間川合 IC～東栄 IC 区間が2019年3月2日に開通。
- 浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）については、2017年8月、国、愛知・静岡2県、豊橋・田原・浜松・湖西4市による連絡調整会議が発足。2018年3月、2018年度中部地方整備局関係予算概要で、「概略ルート・構造の検討」を発表。2018年4月に連絡調整会議がサービス水準、概ねの起終点を発表（三ヶ日JCT、三河港）、2018年12月に中部地方小委員会が計画段階評価の手続きを開始。
- 国道151号においては、宮下交差点立体化に向けた道路・橋梁詳細設計、一宮バイパス整備に向けた用地買収等を実施。
- 東三河環状線の大崎・三蔵子工区の一部区間（延長319m）が、2019年3月12日に開通。



（三遠南信自動車佐久間川合 IC～東栄 IC 開通式典の様子）

新東名

三河港の機能強化【県】

- 神野西地区、御津地区におけるふ頭用地の整備や、神野西地区における岸壁の整備を実施。また、ラグーナ蒲郡支援策として臨港道路を整備。
- 蒲郡地区については、大型クルーズ船の受入環境整備のため、2019年2月に、-11m岸壁を100m延伸。



（三河港）

三河港の海外ポートセールスの実施【三河港振興会】

- 三河港利用促進のため、豊橋市長を団長とする海外ポートセールスミッション団を中国（上海）に派遣し、三河港の利便性をアピール。

・日程：2019年1月24日（木）～26日（土）

・訪問先：中国（上海）

SITC コンテナライズ本社、上海国際港務（集団）股份有限公司、上海愛興路塑料包装有限公司



（海外ポートセールスの様子）

市民ファンドを活用した公共施設における太陽光発電事業【市町村・県】

- 地域住民と一体となった再生可能エネルギーの導入拡大を図るため、市民ファンドを活用した資金調達を条件として、公共施設における屋根貸し太陽光発電事業者を公募。
- 愛知県では、2015年6月18日から発電を開始した水産試験場を始めとする5施設で発電を継続。
- さらに、2016年4月25日には、豊川浄化センターの敷地を活用した太陽光発電施設（1,990kW）が稼働。
- 新城市では、市有施設の屋根貸し事業において、プロポーザルで選定された事業者が、市民ファンドを活用して出資を募り、新城市文化会館を始めとする23施設で発電を開始。
- 豊橋市では、第三セクター「サイエンス・クリエイト」が市民ファンド（みんなおい電市民ファンド）を活用して豊橋市民から出資を募り、市の遊休施設を活用した太陽光発電所を設置。2015年4月より発電を開始。2016年6月に出資者へ初配当を実施。



(豊川浄化センター)



(新城市文化会館)

水源林保全流域協働事業【豊川水源基金】

- 水源涵養などの公益的機能が減退しつつある水源林を保全するため、東三河の全市町村が協働し、水道料金1トン1円相当額を拠出することにより、森林整備を担う人材育成事業や森づくり事業を支援。



(森林整備を実施した森林)

豊川浄化センター汚泥処理施設等整備・運営事業【県】

- 豊川浄化センターにおいて、汚泥処理施設の改築とバイオマス利活用施設の新設及び運営を行う事業をPFI手法により事業化。2014年12月に事業者と契約、2017年2月1日より発電開始。



(豊川浄化センター：PFIで再稼働したメタン発酵施設)

豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業（中島処理場）【豊橋市】

- 中島処理場において、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥及び生ごみからバイオガスを生成し、エネルギー利用する事業をPFI手法により実施。2014年12月に民間事業者と契約し建設を行い、2017年10月1日より豊橋市バイオマス利活用センターとして供用開始。



(豊橋市バイオマス利活用センター)

7 地域力・連携力の発揮 ～愛知県、ひいては日本の発展の一翼を担う地域づくり～

【施策の方向性】

産業振興や行政の効率化など、地域の様々な課題を解決するため、地域づくりの主体となる県、市町村、経済団体、大学、NPO、住民等が共通の課題認識のもとに、それぞれが持つ強みを活かしあった連携を推進していきます。

また、これまで培ってきた三遠南信連携の実績や信頼感をもとにしながら、より活発な取組へと深化させていきます。

東三河広域連合による連携強化

- 2015年度は東三河が出店を目指すべきアンテナショップのコンセプト及びモデルの構築、2016年度には「まるごとにつぼん」、「東京シティアイ」にてブランドショップの実現性・実行性を図る実験を実施。これらを踏まえ、2017年度は、東三河ブランドショップ設置に向けた詳細な検討を行うための基礎資料として、具体的な候補地やショップの機能、設置・運営に係る費用やスキーム、費用対効果など、様々な角度から検討可能な事業計画を策定。

地方創生

東三河広域連合・愛知県東三河広域観光協議会による連携強化

- 東三河広域連合と愛知県東三河広域観光協議会が連携し、「東三河の物産と観光フェア」を開催。

<東三河の物産と観光フェア>

イオン(株)との共催により、第2回目の取り組みとなった「東三河の物産と観光フェア」を開催。

<イオン豊橋南店>

- ・開催日：2018年5月18日（金）～20日（日）の3日間
- ・会場：イオン豊橋南店 食品売場催事スペース
- ・出展店舗数：17店舗

<イオン岡崎南店>

- ・開催日：2018年10月6日（土）～8日（月・祝）の3日間
- ・会場：イオン岡崎南店 食品売場催事スペース
- ・出展店舗数：16店舗

<イオンモール新瑞橋>

- ・開催日：2019年1月18日（金）～20日（日）の3日間
- ・会場：イオンモール新瑞橋 1階セントラルコート
- ・出展店舗数：26店舗

地方創生

愛知県東三河広域観光協議会による連携強化

- 2018 年度は、東三河各地域団体等との連携を図りながら「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2018 への出展」、「東三河いいもの・うまいものフェア」等を実施。

<VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2018 への出展>

国内最大のインバウンド商談会である日本政府観光局主催「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2018」に参加し、各国のバイヤーへ東三河の魅力を PR。

- ・開催日：2018 年 9 月 20 日（木）～22 日（土）
- ・会場：東京ビッグサイト
- ・参加者総数：海外バイヤー353 社（32 の国と地域）/海外メディア 21 社
国内セラー573 社・団体

新東名

<東三河いいもの・うまいものフェア>

豊川用水通水 50 周年記念として、「東三河いいもの・うまいものフェア」を開催。「ものづくり博 in 東三河 2018」と同時開催。

- ・開催日：2019 年 6 月 15 日（金）～16 日（土）
- ・会場：豊橋総合体育館 屋外特設会場
- ・来場者：21,000 人
- ・出展店舗数：52 店舗（過去最多）

地方創生

東三河広域経済連合会による連携強化《再掲》

- 東三河地域の商工会議所・商工会が連携して、経営幹部及び管理監督者向けなどハイレベルのスキルや知識を習得できる人材育成セミナー「東三河産業アカデミー」を実施し、人材育成・経営・商品開発等をテーマとした 20 講座を開催（合計 454 社、626 名の参加）。

地方創生

ロケ誘致支援による連携強化《再掲》【愛知県東三河広域観光協議会、豊橋市、豊橋商工会議所】

- 東三河の自然風景や情緒等を活かし、ロケ支援を通じた地域振興、観光振興を図ることを目的として設立された「ほの国東三河ロケ応援団」による撮影協力の取組を実施。
- 2019 年 2 月 28 日、古関裕而さんと金子さんをモデルにした連続テレビ小説「エール」の 2020 年度前期の放送が決定。古関裕而さんの出身地である福島市と協力して誘致活動を実施。



(エール放送決定の報告会の様子)

地方創生

三遠南信連携の推進

- 「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」は、2019年3月27日、三遠南信地域の発展の方向性を明確に示すとともに、持続可能な地域づくりの指針として「第2次三遠南信地域連携ビジョン」を策定。

- ・テーマ：三遠南信流域都市圏の再生～日本の県境連携先進モデル～
- ・基本方針：道、技、風土、住、人の5分野を設定。
- ・重点プロジェクト：「三遠南信交通ネットワーク」、「三遠南信圏民の一体感醸成」、「地域の稼ぐ力強化」、「三遠南信探訪」、「中山間地域が輝く」、「住むなら三遠南信」、「人生100年時代」の7プロジェクトを設定。

- 2018年10月29日（月）に、豊橋市で第26回三遠南信サミット2018in 東三河を開催。「新ビジョンへの期待」と題したパネルディスカッション、分科会等を実施。

第2次
三遠南信地域
連携ビジョン
SENA VISION 2030



(第2次三遠南信連携ビジョン)

社会人キャリアアップ連携協議会による連携強化<<再掲>>

【東三河の4大学、豊橋市、豊川市、田原市、㈱サイエンス・クリエイト、東三河広域経済連合会、県】

- 2014年10月に、産学官が連携し、地域産業・地域社会を支える社会人のキャリアアップ・システムの構築・推進を目指す「社会人キャリアアップ連携協議会」を設立。
- 2018年度は、「自治体における災害対応等を中心としたドローン利活用について」をテーマとした人材育成講演会を開催。

- ・開催日：2018年12月28日（日）
- ・会場：田原文化会館 多目的ホール
- ・参加者数：152名

地方創生



(社会人キャリアアップ連携協議会
2018年度第2回人材育成講演会)